

**会員事業所景況実態調査令和3年7月～令和3年9月分集計結果**  
**調査依頼数:549 回答数 68 回答割合:12.4%**

令和3年度2回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した7月～9月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	15	28	25	68	▲ 14.7	▲ 19.8	5.1
	採算	8	36	24	68	▲ 23.5	▲ 24.2	0.6
	仕入単価	1	28	38	67	▲ 55.2	▲ 42.5	▲12.7
	従業員	14	50	3	67	16.4	4.4	12.0
	業況	7	38	22	67	▲ 22.4	▲ 24.4	2.1
	資金繰り	2	54	11	67	▲ 13.4	▲ 10.0	▲3.4
建設・建築業	売上	4	8	6	18	▲ 11.1	▲ 44.4	33.3
	採算	3	7	8	18	▲ 27.8	▲ 33.3	5.6
	仕入単価		7	11	18	▲ 61.1	▲ 35.3	▲25.8
	従業員	6	12		18	33.3	16.7	16.7
	業況	1	10	7	18	▲ 33.3	▲ 44.4	11.1
	資金繰り		12	6	18	▲ 33.3	▲ 5.6	▲27.8
製造業	売上	6	2	4	12	16.7	▲ 17.6	34.3
	採算	3	7	2	12	8.3	▲ 23.5	31.9
	仕入単価		3	9	12	▲ 75.0	▲ 60.0	▲15.0
	従業員	3	9		12	25.0	▲ 11.8	36.8
	業況	5	5	2	12	25.0	▲ 5.9	30.9
	資金繰り	2	8	2	12	0.0	▲ 17.6	17.6
卸・小売業	売上	2	4	7	13	▲ 38.5	0.0	▲38.5
	採算		7	6	13	▲ 46.2	▲ 13.3	▲32.8
	仕入単価		7	6	13	▲ 46.2	▲ 33.3	▲12.8
	従業員	2	10		12	16.7	13.3	3.3
	業況	1	4	8	13	▲ 53.8	▲ 13.3	▲40.5
	資金繰り		11	1	12	▲ 8.3	0.0	▲8.3
飲食・サービス業	売上	2	9	5	16	▲ 18.8	▲ 15.0	▲3.8
	採算	1	10	5	16	▲ 25.0	▲ 20.0	▲5.0
	仕入単価	1	6	9	16	▲ 50.0	▲ 30.0	▲20.0
	従業員	3	11	2	16	6.3	10.5	▲4.3
	業況		12	3	15	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
	資金繰り		15	1	16	▲ 6.3	▲ 15.0	8.8
不動産・その他	売上	1	5	3	9	▲ 22.2	▲ 19.0	▲3.2
	採算	1	5	3	9	▲ 22.2	▲ 28.6	6.3
	仕入単価		5	3	8	▲ 37.5	▲ 55.0	17.5
	従業員		8	1	9	▲ 11.1	▲ 4.8	▲6.3
	業況		7	2	9	▲ 22.2	▲ 35.0	12.8
	資金繰り		8	1	9	▲ 11.1	▲ 10.0	▲1.1

**(全体)**

仕入単価、従業員、資金繰り以外はわずかではあるが改善している。一方、仕入単価、従業員は10ポイント以上、資金繰りはわずかであるが悪化している。仕入単価のDI値は▲50ポイント以上と非常に悪化している。従業員は人手不足が強まっている。

**(建設・建築業)**

仕入単価、従業員、資金繰り以外は前回より改善しており、特に売上は30ポイント以上改善し、DI値も▲10ポイント台まで回復している。一方、仕入単価、資金繰りは前回より25ポイント以上悪化し、特に仕入単価のDI値は▲60ポイント以上と非常に高くなっている。従業員はDI値30ポイント台と人手不足が強まっており、資金繰りのDI値は▲30ポイント台まで悪化している。

**(製造業)**

仕入単価、従業員以外は前回より改善しており、売上、採算、業況は30ポイント以上改善し、DI値もプラスに転じている。一方、仕入単価、従業員は悪化し、特に仕入単価は10ポイント以上悪化し、DI値も▲70ポイント台までと前回よりもさらに高くなっている。従業員は人手過剰から不足に転じている。

**(卸・小売業)**

全項目において前回より悪化しており、特に業況は40ポイント以上、売上、採算は30ポイント以上と大きく悪化している。DI値も業況は▲50ポイント以上、採算、仕入単価は▲40ポイント以上、売上は▲30ポイント以上と高くなっている。

**(飲食・サービス業)**

従業員、資金繰り、業況以外は前回より悪化しており、特に仕入単価は20ポイント以上悪化し、DI値も▲50ポイント台と非常に高くなっている。

**(不動産・その他)**

売上、資金繰り以外は前回より改善しており、特に仕入単価、業況は10ポイント以上と大きく改善している。一方、売上、資金繰りは前回より若干ではあるが悪化しており、従業員は人手過剰がさらに強まっている。

**【質問 A】 9月と比較した10月～12月の先行き見通しについて**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	16	28	24	68	▲ 11.8	▲27.6	15.8
	採算	8	37	22	67	▲ 20.9	▲31.0	10.1
	仕入単価	0	28	39	67	▲ 58.2	▲46.0	▲12.2
	従業員	17	49	1	67	23.9	10.1	13.8
	業況	6	41	21	68	▲ 22.1	▲25.8	3.7
	資金繰り	2	54	11	67	▲ 13.4	▲14.6	1.2
建設・建築業	売上	4	7	7	18	▲ 16.7	▲22.2	5.5
	採算	4	7	7	18	▲ 16.7	▲22.2	5.5
	仕入単価		6	12	18	▲ 66.7	▲47.1	▲19.6
	従業員	8	10		18	44.4	16.7	27.7
	業況	1	11	6	18	▲ 27.8	▲16.7	▲11.1
	資金繰り	1	11	6	18	▲ 27.8	▲16.7	▲11.1
製造業	売上	5	3	4	12	8.3	▲12.5	20.8
	採算	1	7	4	12	▲ 25.0	▲25.0	0.0
	仕入単価		3	9	12	▲ 75.0	▲73.3	▲1.7
	従業員	3	9		12	25.0	0.0	25.0
	業況	3	6	3	12	0.0	0.0	0.0
	資金繰り	1	10	1	12	0.0	▲6.3	6.3
卸・小売業	売上	2	5	6	13	▲ 30.8	▲28.6	▲2.2
	採算		8	4	12	▲ 33.3	▲33.3	0.0
	仕入単価		7	6	13	▲ 46.2	▲26.7	▲19.5
	従業員	2	10		12	16.7	20.0	▲3.3
	業況	1	7	5	13	▲ 30.8	▲26.7	▲4.1
	資金繰り		11	1	12	▲ 8.3	▲6.7	▲1.6
飲食・サービス業	売上	4	7	5	16	▲ 6.3	▲31.6	25.4
	採算	2	9	5	16	▲ 18.8	▲30.0	11.3
	仕入単価		8	8	16	▲ 50.0	▲25.0	▲25.0
	従業員	4	11	1	16	18.8	10.5	8.3
	業況	1	10	5	16	▲ 25.0	▲45.0	20.0
	資金繰り		15	1	16	▲ 6.3	▲25.0	18.8
不動産・その他	売上	1	6	2	9	▲ 11.1	▲40.0	28.9
	採算	1	6	2	9	▲ 11.1	▲44.4	33.3
	仕入単価		4	4	8	▲ 50.0	▲60.0	10.0
	従業員		9		9	0.0	4.8	▲4.8
	業況		7	2	9	▲ 22.2	▲35.0	12.8
	資金繰り		7	2	9	▲ 22.2	▲15.0	▲7.2

**(全体)**

仕入単価、従業員以外は改善し、特に売上、採算は10ポイント以上回復する見通しである。一方、仕入単価、従業員は10ポイント以上悪化し、仕入単価のDI値は▲60ポイント近くとさらに高くなる見通しで、引き続き仕入単価の高騰が続く見通しである。

**(建設・建築業)**

売上、採算以外は悪化し、特に仕入単価は20ポイント近く悪化し、DI値も▲60ポイント台とさらに高くなる見通しである。また従業員も20ポイント以上悪化し、DI値も40ポイント台と高くなり人手不足が強まる見通しである。

**(製造業)**

売上、資金繰りは改善し、特に売上は20ポイント以上と大きく改善しプラスに転じる見通しである。一方、従業員は20ポイント以上悪化し、人手不足に転じる見通しである。仕入単価は若干悪化する程度であるが、DI値が引き続き▲70ポイント台と非常に高くなる見通しである。

**(卸・小売業)**

採算、従業員以外は悪化し、特に仕入単価は20ポイント近くと大きく悪化し、DI値も▲40ポイント台と高くなる見通しである。また、売上、採算、業況もDI値が▲30ポイント以上と高くなる見通しである。

**(飲食・サービス業)**

仕入単価、従業員以外は改善し、特に売上、業況は20ポイント以上、採算、資金繰りは10ポイント以上と大きく改善する見通しである。一方、仕入単価は20ポイント以上悪化し、DI値も▲50ポイント以上と非常に高くなる見通しである。

**(不動産・その他)**

資金繰り以外は改善し、特に採算が30ポイント以上、売上が20ポイント以上と大きく改善する見通しである。仕入単価は改善はするが、DI値は依然として▲50ポイント以上と引き続き高くなる見通しである。従業員は人手不足から適正となる見通しである。

